

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)公開番号
特開2025-59151
(P2025-59151A)

(43)公開日 令和7年4月10日(2025.4.10)

(51)国際特許分類		F I		テーマコード (参考)	
A 4 2 B	3/04 (2006.01)	A 4 2 B	3/04	3 B 1 0 7	
A 4 2 B	1/00 (2021.01)	A 4 2 B	1/00	Z	
A 4 2 B	1/019(2021.01)	A 4 2 B	1/019	G	
A 4 2 B	1/0182(2021.01)	A 4 2 B	1/019	N	
A 4 2 B	1/004(2021.01)	A 4 2 B	1/0182	N	
		審査請求 有	請求項の数 10	O L	(全10頁) 最終頁に続く
(21)出願番号	特願2023-168979(P2023-168979)			(71)出願人	591172733
(22)出願日	令和5年9月29日(2023.9.29)				株式会社コジット
					大阪府大阪市西区西本町1丁目12番20号
				(74)代理人	100141586
					弁理士 沖中 仁
				(72)発明者	國時 仁志
					大阪府大阪市西区西本町1丁目12番20号 株式会社コジット内
				(72)発明者	宮井 彩華
					大阪府大阪市西区西本町1丁目12番20号 株式会社コジット内
				Fターム (参考)	3B107 CA01 DA16 DA18 DA21

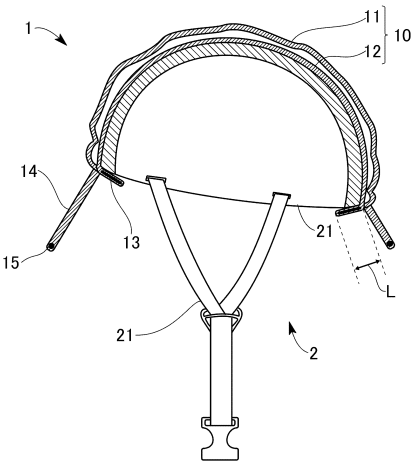
(54)【発明の名称】 ヘルメットカバー、及びカバー付きヘルメット

(57)【要約】

【課題】ヘルメットの外側に被せても、デザイン性が損なわれず、ヘルメットの見栄えを向上させるヘルメットカバー、及び当該ヘルメットカバーをヘルメットに装着したカバー付きヘルメットを提供する。

【解決手段】ヘルメット2に被せて使用するクラウン部10を有するヘルメットカバー1であって、クラウン部10は、外側に配された表地11と、内側に配された裏地12とを含み、ヘルメット2に装着すると、裏地12はヘルメット2の形状に沿って変形及び／又は密着するが、表地11は形状が維持されるように構成される。

【選択図】 図3



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

ヘルメットに被せて使用するクラウン部を有するヘルメットカバーであって、
前記クラウン部は、外側に配された表地と、内側に配された裏地とを含み、
前記ヘルメットに装着すると、前記裏地は前記ヘルメットの形状に沿って変形及び／又は密着するが、前記表地は形状が維持されるように構成されるヘルメットカバー。

【請求項 2】

前記裏地と前記表地との間に隙間が設けられる請求項 1 に記載のヘルメットカバー。

【請求項 3】

前記裏地は、メッシュ生地である請求項 1 に記載のヘルメットカバー。

10

【請求項 4】

前記クラウン部は、当該クラウン部の開口縁に伸縮部材を有する請求項 1 に記載のヘルメットカバー。

【請求項 5】

前記クラウン部から外方に突出した鍔部をさらに備え、

前記鍔部は、前記クラウン部の開口縁から所定の間隔を空けた位置に設けられる請求項 1 に記載のヘルメットカバー。

【請求項 6】

前記間隔の大きさは、1 ～ 4 c m である請求項 5 に記載のヘルメットカバー。

【請求項 7】

前記鍔部を跳ね上げた状態を維持可能な固定手段を備える請求項 5 に記載のヘルメットカバー。

20

【請求項 8】

前記固定手段は、前記鍔部を跳ね上げた状態を維持可能なワイヤーである請求項 7 に記載のヘルメットカバー。

【請求項 9】

前記ヘルメットは、自転車用又は電動キックボード用ヘルメットである請求項 1 に記載のヘルメットカバー。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 9 の何れか一項に記載のヘルメットカバーをヘルメットに装着したカバー付きヘルメット。

30

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、ヘルメットに被せて使用するクラウン部を有するヘルメットカバー、及び当該ヘルメットカバーをヘルメットに装着したカバー付きヘルメットに関する。

【背景技術】**【0002】**

使用者の頭部を保護する目的で自転車等の運転の際には、従来からヘルメットの着用が推奨されていた。そして、道路交通法の一部改正により、2023 年 4 月 1 日からはずべての自転車利用者にヘルメットの着用の努力義務が課されることとなった。また、最近流行している電動キックボード（特定小型原動機付自転車）の利用者に対しても、2023 年 7 月 1 日よりヘルメットの着用が努力義務となった。しかしながら、ヘルメットはデザイン性に乏しく、見栄えが良くないものが多いため、特に日常生活で自転車や電動キックボードに乗る際の着用率が低いのが現状である。

40

【0003】

そこで、ヘルメットに被せて使用する帽子形状のヘルメットカバーが提案されている（例えば、特許文献 1 を参照）。特許文献 1 に記載される帽子状カバーは、ヘルメットに対して外側から被着される帽体と、帽体の外周縁から外方に向かって突出すると共に帽体に形成された鍔部と、を備えるものである。この帽子状カバーは、ヘルメットの外側に被せ

50

ることで、使用者がヘルメットを着用した時の見栄えを向上することができるとされている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2020-186488号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

ところが、特許文献1の帽子状カバーの帽体は、複数枚のくさび状の布片を組み合わせて、デザイン性を高めているものの、ヘルメットの外側に被せると、帽体がヘルメットに密着し、ヘルメットの形状が外観から分かるものとなるため、デザイン性が損なわれ、見栄えの点で改善の余地があった。

【0006】

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであり、ヘルメットの外側に被せても、デザイン性が損なわれず、ヘルメットの見栄えを向上させるヘルメットカバー、及び当該ヘルメットカバーをヘルメットに装着したカバー付きヘルメットを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記課題を解決するための本発明に係るヘルメットカバーの特徴構成は、ヘルメットに被せて使用するクラウン部を有するヘルメットカバーであって、前記クラウン部は、外側に配された表地と、内側に配された裏地とを含み、前記ヘルメットに装着すると、前記裏地は前記ヘルメットの形状に沿って変形及び／又は密着するが、前記表地は形状が維持されるように構成されることにある。

【0008】

本構成のヘルメットカバーによれば、クラウン部は、外側に配された表地と、内側に配された裏地とを含み、ヘルメットに装着すると、裏地はヘルメットの形状に沿って変形及び／又は密着するが、表地は形状が維持されるように構成されるため、表地はヘルメットの形状に沿わず、外観からはヘルメットの形状がわからない。したがって、ヘルメットの外側に被せても、デザイン性が損なわれず、ヘルメットの見栄えを向上させるヘルメットカバーを実現することができる。

【0009】

本発明に係るヘルメットカバーにおいて、前記裏地と前記表地との間に隙間が設けられることが好ましい。

【0010】

本構成のヘルメットカバーによれば、裏地と表地との間に隙間が設けられるため、表地にゆとりが生じ、ヘルメットをふんわりと覆うデザイン等、ヘルメットカバーのデザインの幅を広げることができる。

【0011】

本発明に係るヘルメットカバーにおいて、前記裏地は、メッシュ生地であることが好ましい。

【0012】

本構成のヘルメットカバーによれば、裏地は、メッシュ生地であるため、ヘルメットカバーをヘルメットに被せると、ヘルメットカバーの裏地が伸縮し、ヘルメットの形状に沿って変形及び／又は密着するため、ヘルメットカバーをヘルメットに対して適切に固定することができる。

【0013】

本発明に係るヘルメットカバーにおいて、前記クラウン部は、当該クラウン部の開口縁に伸縮部材を有することが好ましい。

【0014】

本構成のヘルメットカバーによれば、クラウン部は、当該クラウン部の開口縁に伸縮部材を有するため、クラウン部の開口縁とヘルメットの開口縁とが密着し、走行中に強風等によってヘルメットカバーが外れて飛んで行ってしまうことを防止することができる。

【0015】

本発明に係るヘルメットカバーにおいて、

前記クラウン部から外方に突出した鰐部をさらに備え、

前記鰐部は、前記クラウン部の開口縁から所定の間隔を空けた位置に設けられることが好ましい。

【0016】

本構成のヘルメットカバーによれば、クラウン部から外方に突出した鰐部をさらに備えるため、日光を遮ることができる。鰐部は、クラウン部の開口縁から所定の間隔を空けた位置に設けられるため、鰐部が適切な角度で維持され、使用者の視野を確保することができる。

【0017】

本発明に係るヘルメットカバーにおいて、

前記間隔の大きさは、1～4cmであることが好ましい。

【0018】

本構成のヘルメットカバーによれば、間隔の大きさは、1～4cmであるため、ヘルメットカバーをヘルメットに装着した際に、適切な角度で外方に突出した鰐部とすることができる。

【0019】

本発明に係るヘルメットカバーにおいて、

前記鰐部を跳ね上げた状態を維持可能な固定手段を備えることが好ましい。

【0020】

本構成のヘルメットカバーによれば、鰐部を跳ね上げた状態を維持可能な固定手段を備えるため、走行中に風や振動を受けた際にも、鰐部が垂れ下がって使用者の視野を遮ることがなく、側方から前方にかけての視野を確実に確保することができる。

【0021】

本発明に係るヘルメットカバーにおいて、

前記固定手段は、前記鰐部を跳ね上げた状態を維持可能なワイヤーであることが好ましい。

【0022】

本構成のヘルメットカバーによれば、固定手段は、鰐部を跳ね上げた状態を維持可能なワイヤーであるため、使用者が任意の形状に折り曲げることができ、その形状を維持することができる。したがって、使用者ごとに合わせて視野を確保することができる。

【0023】

本発明に係るヘルメットカバーにおいて、

前記ヘルメットは、自転車用又は電動キックボード用ヘルメットであることが好ましい。

【0024】

本構成のヘルメットカバーによれば、近年、着用の努力義務化がされたものの、着用率が低いとされている自転車用ヘルメット又は電動キックボード用ヘルメットに用いる製品とすることができ、ヘルメットカバーを被せることで、日常で違和感なく使えるデザインとなるため、自転車又は電動キックボードの利用者にヘルメットの着用を促すことができる。

【0025】

次に、上記課題を解決するための本発明に係るカバー付きヘルメットの特徴構成は、上記の何れかのヘルメットカバーをヘルメットに装着したことにある。

【0026】

本構成のカバー付きヘルメットによれば、当該カバー付きヘルメットに被せられるヘルメットカバーは、表地がヘルメットの形状に沿わず、外観からはヘルメットの形状がわからないため、ヘルメットの外側に被せても、デザイン性が損なわれない。したがって、ヘルメットの見栄えが向上されたカバー付きヘルメットを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0027】

【図1】図1は、本発明の一実施形態に係るヘルメットカバーを自転車用のヘルメットに装着したカバー付きヘルメットを示す斜視図である。

【図2】図2は、図1に示したカバー付きヘルメットをヘルメットカバーとヘルメットとに分離した状態の斜視図である。

【図3】図3は、図1に示したカバー付きヘルメットのA-A位置における断面図である。

【図4】図4は、裏地側から見たヘルメットカバーの斜視図である。

【図5】図5は、鍔部を跳ね上げた状態のヘルメットカバーの側面図である。

【発明を実施するための形態】

【0028】

以下、本発明について、図面を参照しながら説明する。ただし、本発明は、以下に説明する実施形態や図面に記載される構成に限定されることは意図しない。なお、図面において、各部の形状、サイズ、厚み等は、説明容易化のため適宜誇張又は簡略化しており、図面に現れる各部のサイズ及び厚みに関しては、実際の大小関係（縮尺）を厳密に反映したものではない。

【0029】

〔カバー付きヘルメット〕

図1は、本発明の一実施形態に係るヘルメットカバー1を自転車用のヘルメット2に装着したカバー付きヘルメット100を示す斜視図である。カバー付きヘルメット100は、使用者が、自らの頭に着用することで、頭部を保護するものである。本実施形態におけるカバー付きヘルメット100は、後に詳述する本発明に係るヘルメットカバー1をヘルメット2に装着したものである。本実施形態において、ヘルメット2は自転車用ヘルメットであるが、電動キックボード用ヘルメットであってもよい。本発明のカバー付きヘルメット100は、特に自転車用又は電動キックボード用のヘルメットとして好適に利用することができる。

【0030】

図2は、図1に示したカバー付きヘルメット100をヘルメットカバー1とヘルメット2とに分離した状態の斜視図である。図2に示すように、ヘルメットカバー1は、クラウン部10を有し、ヘルメット2は、本体20と、ベルト部21とを有する。カバー付きヘルメット100は、クラウン部10を本体20に装着したものであり、ベルト部21により使用者の顎下に固定される。

【0031】

〔ヘルメットカバー〕

ヘルメットカバー1は、図1に示すように、ヘルメット2の外側に装着すると、外観からは帽子を着用しているように見え、ヘルメット2の見栄えを向上させるものである。ヘルメットカバー1は、ヘルメット2に被せて使用するクラウン部10を有する。さらに、ヘルメットカバー1は、任意の構成として、鍔部14と固定手段15とを備えている（図3を参照）。なお、本実施形態において、クラウン部10は、キャスケット形状に形成され、鍔部14は後ろ側が短いハット形状に形成されているが、形状は特に限定されるものではなく、キャップ形状、クロッシェ形状等、好みに合った形状にすることができる。以下、ヘルメットカバー1が備える各構成について、詳しく説明する。

【0032】

＜クラウン部＞

図3は、図1に示したカバー付きヘルメット100のA-A位置における断面図である

10

20

30

40

50

。クラウン部 10 は、外側に配された表地 11 と、内側に配された裏地 12 とを含む。図 3 に示すように、ヘルメットカバー 1 をヘルメット 2 に装着すると、裏地 12 はヘルメット 2 の形状に沿って変形及び／又は密着するが、表地 11 は形状が維持されるように構成される。このように構成されていることにより、表地 11 はヘルメット 2 の形状に沿わず、外観からはヘルメット 2 の形状がわからない。したがって、ヘルメット 2 の外側に被せても、デザイン性が損なわれず、ヘルメット 2 の見栄えを向上させるヘルメットカバー 1 を実現することができる。

【0033】

図 3 に示すように、裏地 12 と表地 11 との間に隙間が設けられることが好ましい。裏地 12 と表地 11 との間に隙間が設けられるため、表地 11 にゆとりが生じ、ヘルメット 2 をふんわりと覆うデザイン等、ヘルメットカバー 1 のデザインの幅を広げることができる。本実施形態においては、裏地 12 に対して表地 11 は、クラウン部 10 の開口縁から所定の間隔を空けた位置に縫着されているが、縫着する位置については特に限定されず、クラウン部 10 のデザインに応じて、部分的に表地 11 と裏地 12 とを縫着してもよい。

【0034】

図 4 は、裏地 12 側から見たヘルメットカバー 1 の斜視図である。図 4 に示すように、裏地 12 は、メッシュ生地であることが好ましい。裏地 12 が、メッシュ生地であることにより、ヘルメットカバー 1 をヘルメット 2 に被せると、ヘルメットカバー 1 の裏地 12 が伸縮し、ヘルメット 2 の形状に沿って変形及び／又は密着するため、ヘルメットカバー 1 をヘルメット 2 に対して適切に固定することができる。

【0035】

図 3 及び図 4 に示すように、クラウン部 10 は、当該クラウン部 10 の開口縁に伸縮部材 13 を有することが好ましい。伸縮部材 13 を有することで、クラウン部 10 の開口縁が内側に折り込まれ、クラウン部 10 の開口縁とヘルメット 2 の開口縁とが密着し、走行中に強風等によってヘルメットカバー 1 が外れて飛んで行ってしまうことを防止することができる。また、伸縮部材 13 により、クラウン部 10 の開口縁が伸縮することで、様々なサイズのヘルメット 2 に対して、ヘルメットカバー 1 を容易に装着することができる。本実施形態においてクラウン部 10 の開口縁は、裏地 12 が折り返されて形成されており、裏地 12 の折り返しによって形成された空洞の中に、伸縮部材 13 として平ゴムが挿入されて構成されている。伸縮部材 13 は、特に限定されるものではなく、丸ゴム等であってもよい。

【0036】

< 鍔部 >

鍔部 14 は、クラウン部 10 から外方に突出する。鍔部 14 は、表地 11 と同じ布地を用いられることが好ましい。鍔部 14 により、日光を遮ることができる。本実施形態では、鍔部 14 は、クラウン部 10 の全周に亘って形成されているが、クラウン部 10 の一部に形成されてもよく、例えば、三日月状等が挙げられる。

【0037】

図 3 に示すように、鍔部 14 は、クラウン部 10 の開口縁から所定の間隔 L を空けた位置（すなわち、開口縁から所定の間隔 L だけ退いた位置）に設けられることが好ましい。このような鍔部 14 を備えるものであれば、鍔部 14 が適切な角度で維持され、使用者の視野を確保することができる。ここで、間隔 L の大きさは、1～4 cm であることが好ましく、1～2 cm であることがより好ましい。間隔 L の大きさが、1～4 cm であることにより、ヘルメットカバー 1 をヘルメット 2 に装着した際に、適切な角度で外方に突出した鍔部 14 とすることができる。

【0038】

< 固定手段 >

図 5 は、鍔部 14 を跳ね上げた状態のヘルメットカバー 1 の側面図である。鍔部 14 を跳ね上げた状態を維持可能な固定手段 15 を備えることが好ましい。固定手段 15 を備えることにより、走行中に風や振動を受けた際にも、鍔部 14 が垂れ下がって使用者の視野

10

20

30

40

50

10

20

30

40

50

50

50

50

50

50

50

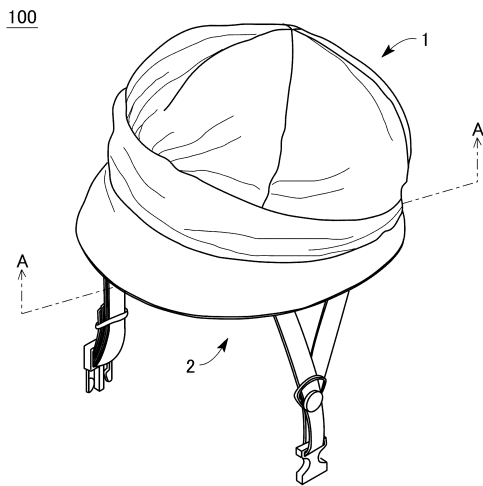
50

50

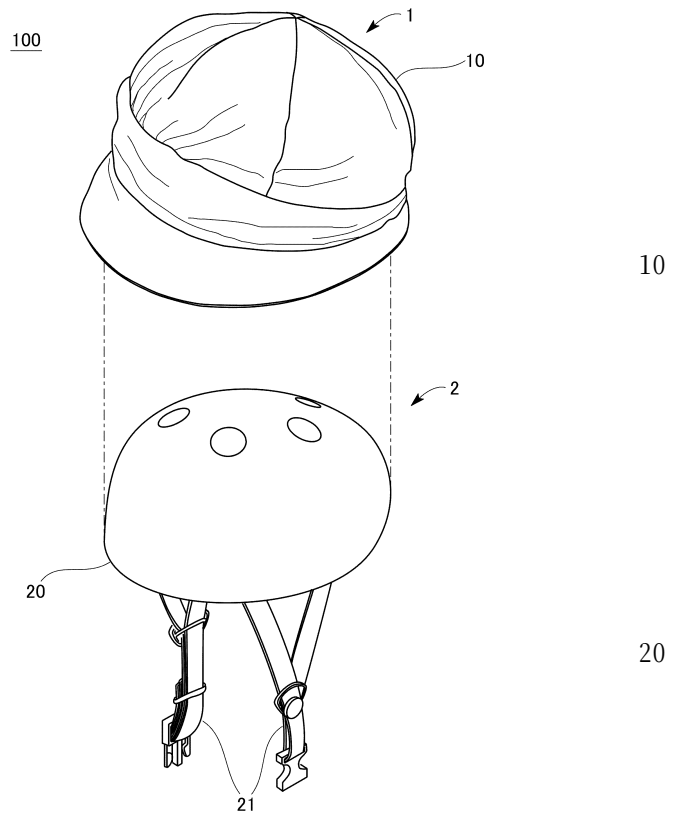
- 50

【図面】

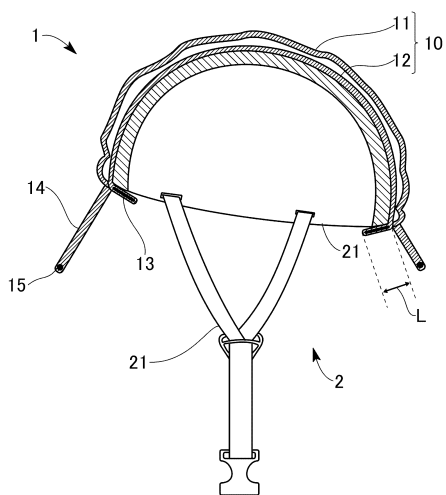
【図 1】



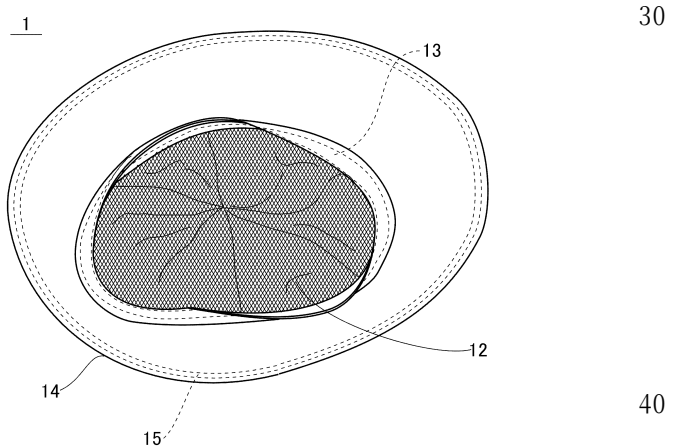
【図 2】



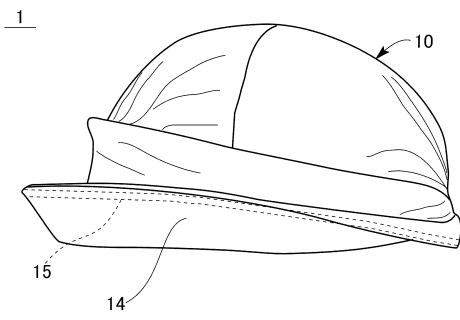
【図 3】



【図 4】



【図 5】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

(51)国際特許分類

F I
A 4 2 B 1/004

テーマコード (参考)